



住吉教会 2013年度テーマ

「殉教者の霊性を生きる」
—信仰刷新の年—

どうして悲しみ・・・

赤波江 豊 神父

今年の9月15日（日）は年間第24主日ですが、本来9月15日は教会の典礼上悲しみの聖母の記念日です。（教会の典礼では聖人の記念日と主日が重なる場合は主日を優先して祝います）でも、どうして悲しみの聖母の記念日があるのでしょうか？ 喜びの聖母ではいけないのでしょうか？ そもそも福音そのものが喜びを目的としているのに？ この日はマリアの生涯の様々な悲しみを称える日なののでしょうか？ この日はマリアが悲しんだので私たちも人生の悲しみをじっと堪える日なののでしょうか？ そうではありません。この悲しみの聖母の記念日を通してマリアは本当の愛とは何かを私たちに教えているのです。マリアはいったい何を悲しんだのでしょうか？ 自分の人生のことでしょうか？ 人間関係のことでしょうか？ マリアの悲しみはことごとく子であるイエスに関するものです。マリアはイエスの生涯に起こった様々なつらい出来事を悲しみました。なぜ悲しんだのかというと誰よりもイエスを深く愛していたからなのです。マリアは愛するからこそ悲しむ。そう、この悲しみの聖母の記念日は私たちを深く愛するからこそ私たちの至らなさを悲しむというマリアの優しさ、母としての慈しみ深さを称える日なのです。愛するからこそ悲しみを受け入れなければならない、同時に悲しみを経験しなければ本当の愛も知ることはできません。私たちは人生の喜びが欲しい。悲しみは避けて生きたい。でも喜びに真の意味を与えるのは悲しみです。私たちには喜びだけではなく悲しみもまた必要なのです。そういう意味で悲しみと喜びは私たちにとって霊的な父であり霊的な母なのです。人生の喜びだけではなく、悲しみも等身大のまましっかり受け止めましょう。

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で 収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため 可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝 (赤波江 豊神父)